

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|---------------------------|----|-----------------|
| ○事業所名 | 児童発達支援・放課後等デイサービス わくわくぶらす | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年 11月 15日 | | ～ 2025年 12月 29日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 8名 | (回答者数) 7名 |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年 11月 15日 | | ～ 2025年 12月 29日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 7名 | (回答者数) 7名 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年 1月 13日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|--|
| 1 | 有資格者のスタッフが基準人員より多く配置されているため、より手厚く丁寧なサービス提供を行う事が可能です | 発達段階の近い利用者さんの通所を揃え、小集団の丁寧な関わりを行っています | 専門的支援により、お子様の特に支援が必要と思われる領域について、個別に集中的な療育を提供します |
| 2 | ペアレントプログラム実施資格を持つ職員を配置しています | 公開療育の日を設けご家族様に普段の様子をご覧頂き、場面に応じた有効な声かけのアドバイス等を行っています | ・ペアレントプログラムの実施により家族支援の充実を図る ・ペアプロ情報発信を行い、ご家族や支援者に認識してもらおう |
| 3 | 関係機関との連携に力を入れています | 保育園や幼稚園へ活動内容を分かりやすく伝えるため、写真入りのお便りの発行を行い連携を図っています | 個別支援計画書の策定時には、可能な限り関係機関に参画してもらい支援方法について共通理解に努めます |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--|---|
| 1 | 戸建ての民家の為、段差や階段があります。車椅子の利用者様や下肢に障がいがある方には支援の工夫が必要だと捉えています | 家庭的な雰囲気との反面、施設として不向きな環境は安全のための工夫が必要と捉えています | ・利用者様に安心安全を提供するため、施設内の設備点検を定期的に継続して取り組みます ・視覚支援や構造化により、過ごしやすい環境を整備します 安全管理の取り組みを徹底します |
| 2 | インクルージョンの取り組み(地域交流や障がいを持っていない児童との交流)が課題と捉えています | 保護者様によって様々な意見があり実現に至っていません | お子様一人ひとりの発達に合わせ、可能な限り地域の中に溶け込んだ活動を提供できるよう、情報収集をいたします |
| 3 | OT、STの専門スタッフや看護師スタッフの配置がございません。医療的ケアを必要とされる利用者様の受入れは現在行っておりません | より専門性の高い支援が求められている事は認識していますが、有資格者の配置に至っていません | 作業療法などの専門的な知識を身に付けるための、スキルアップ研修の充実にも努めます |